

岩内港

歴史2 「港散策歴史コース」

※岩内港をぶらぶら散歩しながら、昔のしん場を想像してみませんか。

🚗(車) 5分 🧑(徒歩) 45分 🧑(見学)60分 計110分

夏目漱石の実家の人が跡取りを兵隊に取られたいというので、戸籍を知人の住む岩内に移したのではないかとされています。その頃北海道の住民は徴兵制を免除されていました。

明治32年創業です。店内イートインスペースより工場の様子や蒲鉾造りの様子を見ることが出来ます。午後1時からは、予約すると手造り体験が楽しめます。

体験の場合60分

江戸時代に本州からの北前船がたくさん入っていましたが遭難事故が相次ぎ、町単独の築港事業を明治から始めました第1期から第3期まで総公費96万円今のお金で100億円です。2010年の岩内町の会計予算は68億円です。にしん漁が衰退したあとにスケソウ鱈漁が盛んになり、発動機船のお陰で発展しました。港の水深が深いため、大型船の入港ができ、フェリー航路があった時代もあります。

吉田かまぼこ店

郷土館

郷土館

岩内町の縄文時代から現代の物まで数千点の展示物があります。なかでもにしん場文化を伝えるものが多いです。日本最古のオルガンや隠れキリシタンの背負った聖母子像の観音像など珍しいものがあります。岩内大火や水上勉などの資料が充実しています。

大正12年創業で、味噌まんじゅうはからの製造方法だそうです。パンパキンの種を入れた「はまなす」が有名です。

- かまぼこ体験隊 (3日前予約)
- 吉田蒲鉾店
- ・4名以上6名まで
 - ・午後1時集合
 - ・作業服など貸出
 - ・費用 大人1000円、中学生700円小学生500円
 - ・作ったかまぼこは持ち帰りできます。
- 内容(60分)
- ・着替え、名前記入 15分
 - ・作業 35分
 - ・店舗で食べる 10分

